

指導方法 の履歴を 残す。

授業環境の整備、その一環として
指導方法の統一を図る試み。

・教科書の指導方法を基本とし、学年間でそろえた方が良いと判断した学習内容や学習方法を記録用紙に記録します。

(例)かけ算九九の暗唱の習熟方法(上り、下り、飛ばし)、合格認定の方法等

(例)さくらんぼ計算の書かせ方(10をつくる時の数字のくり方等)

・その他引き継いだ方が良いと思われるものを資料としてファイルします。

・26年度に作成したものを、27年度に引き継ぎ検証しながら、加除修正を加えます。

滝沢市立
滝沢第二小学校

『各学年で共通理解を行った指導方法や内容、手順、習熟方法等』 No.

4年生 算数科 単元名 わり算の筆算(1)

教科書(上)下) 31 ページ内容

○ $3\overline{)72}$ や $5\overline{)735}$ のような計算でも必ず

$3\overline{)72}$ $5\overline{)735}$ と指でかくし、商がどこから立てるか確認する。

○ $4\overline{)256}$ は $4\overline{)256}$ と指でかくし、百の位は商が立てられない時は、間ちがえ防止のためXを書く。

以下、3けた÷2けたになっても同じようにする。

本事例集の刊行に際して、ご協力をいただいた皆様に心から感謝申し上げます。初版は、県内外で多くの活用をいただいております。本事例集も引き続きご利用いただければ幸いです。

さて、全国的にユニバーサルデザイン授業の取り組みが普及推進されております。ユニバーサルデザイン授業という呼び名は、多くの教師の興味関心を喚起し、仲間同士で話題を共有することに役立っています。

ユニバーサルデザインは、子どもたちの多様性を認め、どの子どもにもわかる、できる、手ごたえがある学習を提供しようというものです。

子どもたちの多様性への対応は、その一面に個別に子どもたちを見るということでしょう。そこに特別支援教育との接点がありました。

しかし、「どの子どもにもわかる、できる、手ごたえがある学習を提供しよう」という理念は、通常教育での授業づくりにおいては伝統的で、かつ普遍的なものでした。ユニバーサルデザイン授業とは、通常教育との接面を予め有しているものだと思います。

ユニバーサルデザイン授業は、特別支援教育と通常教育のリンクと言うこともできます。本事例集も特別支援教育と通常教育のリンクです。

そして、本事例集が、これをお読みになっている皆様と、子どもたちのリンクになりうることを願っています。

おわりに

附属学校特別支援
教育推進専門委員

佐々木全

(岩手大学教育学部)